第160回群馬県医師会臨時代議員会 議事録

日時 令和7年3月3日(月)19時10分～20時30分
場所 群馬県医師会2階 大ホール

1. 開 会

(藤塚議長)・・・議席表のとおり

代議員総数74名に対し、出席者数72名、欠席者2名。

定款第25条第1項に定める定足数を超えたので会議成立。

(藤塚議長)

議事録署名人として

中野正幸代議員(議席60番)、栗原透代議員(議席64番)を指名。

1. 会長挨拶

・・・須藤会長

1. 議 事

第1号議案 新群馬メディカルセンター建設の件

(須藤会長)趣旨説明

(清宮理事)補足説明

(質問)

山田代議員(議席58番)より、
本来行政が負うべきリスク管理を医師会が行う必要性について、行政からの継続的な補助等について、建設だけでなく賃貸等を検討することについて、県内一律の会費徴収の是非について質問があった。

(須藤会長)

リスク管理について、能登のJMAT派遣を経験し、まさに医師会の存在意義はここにあると考える。賃貸物件も検討したが、高額であり断念した。前橋市に建設する理由は県行政との連携・関係性を重視しているため。現地建替えも検討したがコスト面で断念した。

山田代議員(議席58番)

コスト高とのことだが比較検討する材料がなく、我々には判断できない。

(清宮理事)

賃貸については数件の可能性があったが、どれも実現しなかった。現候補地は、前橋市との交渉の上格安で入手した。

岡本代議員（議席25番）より、

A会員に行ったアンケートでは建設賛成は3割に満たない。代議員は会員の総意を汲まなければいけない。必要な機能を備える必要はあるが、資金計画が当初の倍になり実行するのは大きな負担となり、また計画に不確定要素が多い、との意見があった。

(須藤会長)

建設を中止する場合、設計料が反故、前橋市との土地に係る契約違約金、県の補助金もどうなるか不明。

須田代議員（議席14番）より、

前橋市に確認したところ、土地に関しては柔軟に対応するとのことだった、との発言があった。

和賀代議員（議席53番）より、

返済は誰がどうやって行うのか。

(須藤会長)

会員の追加負担なしで行う。

(清宮理事)

返済は、新会館の家賃収入で行う予定。

林代議員（議席57番）より、

建設後のメンテナンス費用は考慮されているのか。ホールが2つあるのか。

(須藤会長)

減築、LEDの導入等で、費用は下がる予定。

(清宮理事)

2階と3階は吹き抜けになっておりホールは1つ。災害時には平らにして避難所等に使う。

田中代議員（議席24番）より、

今回の特別会費は、資金計画のどの部分になるのか。

(清宮理事)

「会館負担金」の部分になります。

水口代議員（議席56番）より、

寄附金はいくら集まっているのか。

(須藤会長)

これから寄附いただく。特別会費以外に任意の寄附をお願いしたい。

山田議員（議席 5 8 番）より、
寄附金が集まらない場合はどうするのか。

（須藤会長）
外部からの借り入れをできるだけ少なくしながら、どうにかして工面したい。

（藤塚議長）
本案の重要性に鑑み、無記名投票による採決としてよいか。

（異議なし）

（藤塚議長）
投開票立会人として、須田浩充代議員（議席 1 4 番）、岡本克実代議員（議席 2 6 番）、
菊地一真代議員（議席 3 8 番）を指名。

開票管理人として、羽鳥則夫代議員（議席 4 4 番）、中野正美代議員（議席 5 1 番）、
水口滋之代議員（議席 5 6 番）を指名。

（藤塚議長）
議場を閉鎖。無記名投票について説明。投票実施。
投票漏れなし。

開票管理人が開票作業実施。議場閉鎖解除。
投開票立会人、開票管理人が議長へ開票結果報告。

（藤塚議長）
賛成 2 8 票、反対 4 1 票、白票 2 票、合計 7 1 票（議長を除く）。
過半数を超える反対のため、本案は否決。

1. 協 議

（協議なし）

（須藤会長）
慎重なご審議ありがとうございました。代議員会の決を受け、時間はかかるとは思いますが、
ご容赦いただき、新会館については設計から再検討していきたいと思ひます。

1. 閉 会